



残暑お見舞い申し上げます

まだまだ暑い日が続きますが、夏休みも残り2日間となりました。

8月9日(水)は、「平和を考える」登校日でしたが、台風6号接近のため実施できませんでした。そのため、9月4日(月)に平和集会を実施します。

昨年2月にロシアによるウクライナ侵攻が始まり、もうすぐ1年半が過ぎようとしています、終結の兆しも見られません。メディアを通じて目にする惨劇に心が痛み、私たちは改めて人の命や平和の尊さについて考える日々を過ごしています。

さて、8月9日は日本にとって、長崎にとっていつまでも語り継いでいかなければならない日でもあり、学校では毎年それぞれの学年が平和学習の発表を行います。

1年生は「被爆の実相を知る」という目標で、被爆遺構巡りを中心として被爆体験継承講話等で学んだ内容を壁新聞として作成しました。

2年生は「戦争の構造を学ぶ」という目標で、戦争当時の人々の暮らしや沖縄戦等を題材として調べた内容についてパワーポイントを作成しました。

3年生は「平和な社会の創造に向け、発信する」という目標で、歌を取り入れた朗読劇を創り上げました。

それぞれの学年が発達段階に応じて学んだ内容を、自分のことばでまとめ表現する学習はとても効果的です。学校では、今後も毎年戦争の悲惨さ、生命の尊重、平和の必要性について学習を深め、次のことを心に刻み続けます。

もう戦争は起こしてはなりません。私たちに核兵器は無用なものです。

私たちににとって大切なものは、この美しい自然と温かい心と、そしてすべての生き物が助け合い、共存する世界です。

被爆国民である私たちは、二度と同じ悲劇を繰り返さないよう行動していかなければなりません。

NO more 長崎! NO more 原爆! NO more 戦争!

平和学習発表会に参加しました

8月18日(金)に長崎市平和会館で、長崎市主催の平和学習発表会が開催されました。

この会は、市内の中学生が日頃の平和学習の成果などの発表をとおして、各学校における平和の取組を発展させることを目的としています。10名程度で班を構成し、発表資料をもとに2分程度で発表し、他の参加者が感想を述べるという流れで行います。この様子はテレビのニュースでも取り上げられていたもので、ご覧になった方も多いかもかもしれません。

深堀中からは3年生3名が代表として参加しました。

1 学期終業式での生徒あいさつ（一部を抜粋して記載）

【1年生】

1年生の1学期良かった点は、明るく仲間思いで、お互いを助け合うことができたところです。悪かった点は、あいさつ・返事の声が小さい、提出物の提出率が悪い、2分前学習ができていない、など、たくさんありました。悪かった点の改善点は、1人1人が学校のルールやマナーを認識し、各部がしっかりと、呼びかけや注意を徹底することで、改善されていくと思います。さて、私たちが入学して3か月がたちました。もう完全に中学校生活に馴染めたと言っても良い頃合いです。部活をしている人は、先輩方との出会いや、新たな発見が多くあったと思います。中には、きついことや辛いこともあったと思いますが、それを乗り越えることで、部活をしている人にしか味わえない楽しさがあったと思います。夏休みは、ルールやマナーを守ることを第一に考え、地域の人に自分からあいさつをすることを心がけて過ごしたいです。また、計画的に夏休みの宿題や1学期の復習に取り組み、実力テストに向けて、勉強にも力を入れたいと思います。

【2年生】

1学期を振り返って、特に2つのことを頑張りました。1つ目は、体育大会の学年種目「大縄」です。昼休みや放課後を使って、たくさん練習しました。赤白それぞれのチームで競い合うことで、互いに高め合うことができました。2つ目は、期末テストです。テストに向けて、授業や家庭学習を「今までで一番」と言っているほど集中して取り組みました。そうすることで、自分の中ではよい点数が取れ、自信につながりました。2年生は環境が変わり、学年としてまとまるチャンス、みんなが本気になり粘り強くチャレンジし、自分たちから進んでやるようにチェンジすることができました。特に、反応や3分前着席など、お互いに呼びかけ、それぞれが意識して行動するようになりました。夏休みの後半には実力テストがあります。まとめてやるのではなく、地道にコツコツと取り組み、期末テストのときのように、自信につながるよう頑張ります。

【3年生】

僕たち3年生にとって中学校生活最後の1年が始まり、早いもので今日で1学期も終わりです。1学期を振り返り、反省を2点述べたいと思います。1つ目は、部活動です。3年間やり続けたのは、ちゃんとメリットがありました。1・2年生と仲良くなれ、様々な経験を得て自分の人生に役立てることができました。この「部活動をやり遂げた」という事実は永遠に残ります。これは今の僕にとって、大きな自信になりました。2つ目は学習面です。これまでの学習でiPadを手放すことができませんでした。それで、勉強したはずのところがテストになると解き方をど忘れしたり、凡ミスをしたりすることが多かったです。これがだめなこととわかっていても、どうしても止めることができませんでした。そして、そういう自分に嫌気がさしてついに行動に移す決心をしました。勉強の時は親にiPadを渡して管理してもらうことにしました。これは強制ではなく、自らが決めた選択です。夏休みは受験生にとってとても大事な時期です。だから、今まで以上に気合を入れ直して受験勉強に臨んでいきます。

1学期の終業式では3名とも、体育館の壇上でそれぞれ上記の内容を1学期の反省として述べました。個人の内容や学年全体に関する内容等、振り返りがよくできていました。これらの内容が、2学期に生かされることを期待します。